

●交付対象事業評価シート

交付対象事業名	地域・情報・人のネットワークづくりによる安全・安心な地域社会の創生
事業実施期間	平成28年度～令和2年度（5か年度）
交付対象事業の概要	刈谷豊田総合病院を衣浦定住自立圏域の中核医療機関として位置付け、圏域を構成する市町の医師会や歯科医師会、行政が連携を図り、中核医療機関と病院、診療所が機能分担・連携する圏域医療連携ネットワークを構築する。また、圏域医療連携ネットワークと連携することで、圏域の各市町が運営するコミュニティバスの接続性の向上及び相互乗入を行っている乗継拠点等の充実を図り、安全・安心で利便性の高い都市交通ネットワークを構築する。

●交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI)

	名称	単位	事業開始前	実績値					目標値
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度
〔1〕	圏域医療ネットワークに参加する圏域内の病院、診療所数	施設	0	0	157	165	167	192	180
〔2〕	「安心して医療が受けられる環境が整っていると思う」市民の割合	%	83.0	83.0	—	84.0	—	85.0	88.0
〔3〕	「まちなかの移動環境に満足する」市民の割合	%	13.0	20.0	—	17.0	—	18.0	25.0

●交付対象事業における取組内容

事業評価対象取組	実績
<p>コミュニティバスの接続性を高める仕組みの構築と相互乗入を行っている乗継拠点の充実</p>	<p>平成28年度にバスロケーションシステム（※）を導入し、利用者が多いバス停にはモニターを設置した。令和2年度は新たに生きがいセンター・総合運動公園の各バス停に設置し、市内で計13台となり、利用者の利便性を向上させることができた。</p> <p>【実施事業名：公共施設連絡バス停留所整備事業】</p> <p>※公共施設連絡バスの利用者が、バス停での待ち時間等の不便性という課題に対して、運行情報（バスの走行位置、遅延時間等）をリアルタイムで取得できるシステム。</p>

●実施事業の重要業績評価指標 (KPI)

	現状分析	名称	単位	事業開始前	実績値					目標値	
				H27年度	H28年度	H29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和2年度	
〔1〕	△	成果	公共施設連絡バス利用者数	人	694,319	700,656	713,962	720,149	706,583	516,336	741,000
〔2〕	◎	活動	バスロケーションシステム設置数（延べ）	件	0	3	6	8	11	13	13
〔3〕	△	成果	バスロケーションシステムアクセス数	件	0	22,361	1,235,020	1,637,273	1,661,517	1,502,063	1,800,000

【注】 ◎…上昇傾向、○…横ばい、△…下降傾向

成果・現状分析と課題

成果・現状分析	課題の整理
<p>◆公共施設連絡バスについて、バスロケーションシステムを導入し、利便性の向上を図っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や新しい生活様式の導入により、通勤や移動のあり方が変容したことで、令和2年度の利用者数は前年度比73.1%まで減少した。</p>	<p>◆新しい生活様式の定着により、バス利用者の大幅な増加が見込まれない状況ではあるが、乗り継ぎが行われる拠点においては、アクセスの充実や利用環境の向上といった、乗り継ぎがしやすい交通結節点を形成することが必要である。</p>

今後の方向性

<p>◆公共施設連絡バス、定住自立圏域内の他市からの乗り入れバスやその他の公共交通機関との有機的な連携を図り、鉄道駅やバス停等の交通結節点、拠点施設を結ぶことで持続可能な公共交通ネットワークを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民の移動手段として、公共施設連絡バスの利便性を高める <ul style="list-style-type: none"> →運行ダイヤ等の課題に対処するため、調査研究 →バスロケーションの利便性向上や活用方法の周知 ○民間活力を活用したバス事業を支援 <ul style="list-style-type: none"> →民間が運行する補助路線の広域路線化に向けた調査研究 ○官民一体となった公共交通ネットワークのあり方の検討 <ul style="list-style-type: none"> →企業、交通事業者、地域などと意見交換を実施 	<p>公共交通 ネットワークの充実</p>
--	---------------------------